

## 市政懇談会質疑要旨

◎大東会場

質問・要望・意見	市からの回答
市長、助役、教育長だけでなく、部長等の名前も表示してほしい。(女性A)	ご意見を肝に銘じ、次回からは是非そのように対応する。(市長)
町ごとに職員配置にばらつきがあるのではないかと。(女性A)	総合センター等、組織的には各町とも同じ組織になっている。人口に応じて職員数には若干差があるが、戦力に差は無い。今後は市政運営に取組みながら、更によりよい組織体制にしていきたい。(市長)
幼稚園がある町と無い町があるが、雲南市として、今後どのようにされるのか。 子育て支援の充実はもちろんですが、加えて子供が育つための支援もしてほしい。(女性A)	今、保育所のニーズも高まっている。また、幼保一体化のモデルケースを加茂町で考えている。将来的には、子育て支援という観点からの整備が必要と考えている。(教育長)
これからのまちづくりについて、『戦略』という言葉を使って話されたが、「戦い」という意味を持つこの言葉は、行政が使う言葉として適当ではないのでは。(女性A)	儲ける必要は無いが、行政も経営をしていかなければならない。本当によい意味で、みんなで更に良くしていこうという姿勢を競い合うということは必要であると思っている。そういう意味での表現なので理解頂きたい。(市長)
大東町にはオンリーワン事業として駅前開発があるが、是非、地元業者にやってもらいたい。(男性B)	すべての事業について、できるだけ地元の業者さんにやっていただけるような環境づくりを進めていきたい。(市長)
3月初めで急遽不燃物処理場が閉鎖されるが、今後の対応を聞かせてほしい。(男性B)	4月から国の基準が変わり、不燃物処理場を廃止せざるを得ない状況になった。今後は、リサイクルプラザ等で取扱えるよう地元との協議を進めているので、しばらくの間、ご辛抱頂きたい。また、環境に対する考え方が変わり基準も厳しくなってきているのでその点もあわせてご理解頂きたい。(市民部長)
長年の念願である海潮幼稚園の建設を、一日も早くお願いしたい。(男性B)	要望として伺う。
海潮地区は雲南市の東の玄関口であり、利便性も良い。人口増につなげる観点から市営住宅の建設をお願いしたい。(男性B)	
海潮地内から連担地に向かう県道は、まだまだ危険箇所がたくさんある。市としても力を入れて県に道路改良の要望をして頂きたい。(男性B)	
合併してまた馴染みが無いせいか、広報誌等を見ても違和感がある。(男性C)	より市民のみなさんに親しんでいただける、しっかり目を通していただける広報活動をしていきたい。(市長)
過疎化、高齢化が進み、いよいよ借金も増えていくが、今後の対策についてどう考えているか。(男性C)	少子高齢化が進み、人口の都市部への集中化が進む中、雲南市としては、構成6町村の持つ魅力を雲南市の魅力として高め、交流人口を拡大し、昼夜を分かたずたくさんの人に滞在して頂けるような魅力あるまちづくりを進めていく。そしてまた、年配の方も元気に暮らせ、生涯現役でいられる社会づくりや交流人口増、社会増の対策と並行して人口の自然増対策や子供を育てやすい環境づくりをしていかなければならないと思っている。(市長)
鳥取県湯梨浜町のように各町から代表が出て、お互いの意見交換等の機会を持つことが、今後の市の発展に必要なではないか。(男性C)	要望として伺う。

質問・要望・意見	市からの回答
<p>地域の一体化をどのように図っていくかが問題だ。昭和の大合併でもかなりの時間を費やした。情報網を活用し、一体化を図ることも必要ではないか。(男性D)</p>	<p>昭和の大合併と平成の大合併の違いは、「道路網の発達」と「情報網の発達」の違い。地域の一体化を図っていくために、まず、道路網を使った公共交通ネットワークの構築をし、今まで以上に行き来が自由になるような施策が大切であると思う。そして、情報網については「雲南夢ネット」が市内全域をカバーしているので、これらを駆使し、IP電話を全市に広げることやテレビ電話も将来的にはやっていかなければならないと思っているので、一部事務組合を中心に積極的に進めていきたいと思う。(市長)</p>
<p>この地域の一番大切な産業は農業である。中山間地直接支払い制度にみられるように、法人化や協業化できる条件の良い所だけが発展し、結果、山間部が廃れることの無いよう、先進的な所と条件不利地域との二本柱で、農業をどう立て直していくかということを考えてほしい。(男性D)</p>	<p>農業振興は「ふるさと産業の創出」の根幹を成すもの。圃場整備ももちろんだが、棚田等が投げやりになされ、荒地への一途を辿るようなことがあってはならないと思っている。(市長)</p> <p>中山間地直接支払い制度は17年度から更に5年間実施されるが、国が言っているような法人化や協業化はなかなかできない。農業の担い手が、だんだんと高齢化していく状況の中では、農家だけでなく、非農家も含めた集落ぐるみで知恵と汗を出し合って、農地を荒廃から守っていただく取組みに頑張ってもらいたい。(産業振興部長)</p>
<p>今度、加茂町に進出予定のカミサリ一事業を展開する企業は、地元業者にとっては大変な脅威になる。こうした痛みのわかる市長であってほしいと思う。(男性E)</p>	<p>これまでも、雲南市が間に立ってその企業の発起人の方と市内の料飲組合の方々との話し合いの機会が持たれている。雲南市としては、こうした企業が進出することによって、雇用の確保やこの地域の食材が使われることによる第一次産業の底上げに繋がるのであれば、是非頑張ってもらいたいと思っている。今、この業界は松江市の学校給食の完全委託等により県外業者の進出や異業種参入が盛んに行われている。こうした状況の中、市としては、地元業者の皆さんとの間に入ったりしながら、良い形で、今後双方の事業展開ができるよう対応していきたいと思っている。(市長)</p>
<p>山王寺地区は生活用水に困っており、それが人口流出の原因にもなっている。棚田も含め私たちは地元を何とか守っていきたくて思っている。生活用水を確保し、若者が地域に留まれる施策をお願いしたい。(男性F)</p>	<p>雲南市の水道普及率は91%で、大東と吉田以外はほぼ100%。大東の場合、上水道の拡張工事と県の井戸掘り事業で未給水地域の解消を進めている。今後、いろいろな事業を選択しながら進めていける道があれば進めていかなければならないと思っている。(水道局長)</p> <p>合併効果が顕著に発揮されるべきは生活基盤の向上で、その中でも生活用水の確保は最重要課題であると思っている。あらゆる知恵と工夫でできるだけ早く要望に沿う形にもって行きたいと思う。(市長)</p>